

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- クォン・ヨンマン師とユ・ソンスク師が、11月21日～25日の日程で来日されます。本場キムチバザー＆コンサートのためにお越しください、期間中のすべてのプログラムで、クラシック・ゴスペルコンサートの奉仕を担当していただきます。豊かな賛美と恵みの時間となるようお祈りください。

今日 14:00 バザー＆コンサート開始

- 12月1日(日)さいたま感謝キリスト教会にて、在日韓国キリスト連合会東日本の総会があります。柳師が参加します。教会と宣教の働きのための重要な集まりです。主の豊かな導きと祝福がありますように、覚えてお祈りください。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



主の招き イザヤ 55:1-3

1「ああ、渴いている者はみな、
水を求めて出て来るがよい。

金のない者も。さあ、穀物を買って食べよ。さあ、金を払わないで、穀物を買え。代価を払わないで、ぶどう酒と乳を。2 なぜ、あなたがたは、食糧にもならないもののために金を払い、腹を満たさないもののために労するのか。わたしによく聞き従い、良いものを食べよ。そうすれば、あなたがたは脂肪で元気づく。3 耳を傾け、わたしのところに出て来い。聞け。そうすれば、あなたがたは生きる。わたしはあなたがたと永遠の契約を結ぶ。それは、ダビデへの確かで真実な約束である。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 熊谷茂美(祈禱)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 鈴木真由美(祈禱)

水曜礼拝 高木はつえ(司会) 韓芽唯(祈禱)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈禱会、火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-47 号

2025.11.23

神の国とその義を 第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

信 仰 告 白	賛美リード (使徒信条)	柳澄香
代 表 祈 禱		高木はつえ
特 別 賛 美	インマヌエル聖歌隊	
聖書箇所	主の恵み	クォン・ヨンマン牧師
	イザヤ 55:1-3	
	主の招き	
メ ッ セ ー ジ		柳承吉牧師
賛 美	神の家族	
祝 禱		柳承吉牧師

キムチバザーとコンサート PM 2:00~

1. 闘牛士の歌(クォン・ヨンマン)
2. オソレミオ(クォン・ヨンマン)
3. ベハク(クォン・ヨンマン)
4. フラメンコ(仲田ユキコチーム)
5. ジーザス(クォン・ヨンマン)
6. 欲しい、願い、祈る(ユ・ソンスク)
7. フラダンス(JTG チーム)
8. ハピネス(デュエット)
9. もう一つの果実を期待して(デュエット)

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会	松島スヤンティ
代表祈禱	松島浩一
聖書箇所	ローマ書 8:10-14
メッセージ	ローマ書 8 章の概略(4) 柳承吉牧師
主の祈り	

今週の御言葉 主の招き イザヤ 55:1-3

今日は特別に「キムチバザー&コンサート」の日です。願わくは、この時間を通して、初めて来られた方も、久しぶりの方も、そしていつも礼拝に来られている皆さんも、生ける神に出会い、福音の力によって祝福された時となりますように。

私たちが生きていて最もつらいのは、自分と周りの人が重い人生の荷を背負い、崩れ落ちていく姿を傍で見ることです。ある人は経済的困難で、ある人は人間関係の痛みで、ある人は突然の事故によって、またある人は医師からの診断によって、本人だけでなく家族全体が崩れ落ちてしまいます。誰がこの「人生の荷」を背負ったことがないと言えるでしょうか。誰がこの重荷を避けて生きられるでしょうか。イエス様が言われた「すべて疲れた人、重荷を負っている人…」それが私たちです。外からは平気そうに見えても、心の深いところでは皆、この重荷に苦しんでいるのです。

1 節には「渴いている者は、来なさい」と。今日を一言で表すと「渴きの時代」です。物質は満ちているのに、心は渴いています。なぜこんなことが起こるのでしょうか？

世界的女優エリザベス・テイラーはこう語りました。「私は女として味わえるものをすべて持っていました。でも私が本当に必要としていたものは、そんなものではなかった。誰かの真実な心、愛、それだけだった。」彼女の心は深い渴きのままでした。美しさ、名声、お金、恋愛、それらすべてを持ちながらも、「愛されたい」それが彼女の渴きでした。聖書はその理由を明確に語ります。「人が神を離れたから」です。2 節には「食糧にもならないもののため

に金を払い、腹を満たさないもののために労するのか。」また、エレミヤ 2:13 には、「いのちの水の泉であるわたしを捨て、水を溜めることのできない壊れた水溜めを、自分たちのために掘った。」人は、神ではないもので自分を満たそうとします。しかしそれは「壊れた水溜め」です。しばらくは満たされても、すぐに渴く。どれほど手に入れても、心は空いたまま。本当の満足は、いのちの源である神に帰る時にだけ与えられます。続く 3 節に、神様はこう語られます。「耳を傾け、わたしのところに出て来い。聞け。そうすればあなたがたは生きる。」

では、今日あなたを招いておられるイエスとは誰でしょうか。この汚れた世界のただ中へ、天の御座を捨てて降りてこられた神の御子。罪に染まった私を救うため、低くなられ、十字架で私の汚れと恥と罪を抱きしめ、私の代わりに死なれた方です。条件を求めることなく、資格を問うことなく、「そのままのあなた」を抱きしめてくださる方です。なぜ私たちは人々を教会へ招くのでしょうか？

神の国に入るべき「一人の魂」を救うためです。主は言われました。「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」罪の重荷も、人生の重荷も、あなたの力では降ろせなくても、イエスはそれを代わりに背負いたいと願っておられます。そして、信じる者に「真の幸せ」を与えられます。今日、心が疲れ、渴いていた方がいるなら、どうかこの瞬間、神の声に耳を傾けてください。その言葉に「アーメン」と答えてください。その時、神はあなたの魂を生かされます。主があなたの人生を新しくし、この世が与えることのできない喜びと平安で満たしてくださることを確信します。